

地理空間情報ライブラリーによる地理空間情報の活用促進

1. 背景・目的

平成23年に発生した東日本大震災では、庁舎が被災した地方公共団体等において、多くの地図等が失われ、被害状況の把握や迅速な復旧に支障が生じたことから、既存の地理空間情報の保管体制の充実が重要となっている。また、今後発生が予想される首都直下地震や南海トラフ巨大地震等の大規模災害に対する防災・減災対策等、地理空間情報を活用した国土強靱化推進への積極的な取組が必要である。さらに、日本再興戦略や世界最先端IT国家創造宣言においても、行政が保有する地理空間情報の共有・活用が求められている。

これらの背景を踏まえ、さまざまな目的で利活用が可能な地理空間情報の流通を促進し、共有・活用を進めるため、地理空間情報の統合的な検索・閲覧・入手を可能とする地理空間情報ライブラリーを運用するとともに、その普及促進の取組を行う。

2. 事業の概要

災害状況の把握及び事業の企画・立案のための基礎資料として活用可能な地図、空中写真などの基本測量成果及び国・地方公共団体等が整備した地図などの公共測量成果を地理空間情報ライブラリーに登録する。登録した地理空間情報は、インターネットを通じて利活用することができる。地理空間情報ライブラリーでは、国土地理院の地図、空中写真に限らず、さまざまな機関が整備した地理空間情報を検索することができる。

3. 平成28年度要求額

国費 241百万円

4. 事業の効果

測量成果等の地理空間情報が集約され、統合的な検索・閲覧・入手を可能とする地理空間情報ライブラリーを運用し、地理空間情報の流通と活用を促進することにより、迅速な情報収集が可能となり国民の利便性の向上に繋がる。また、地理空間情報ライブラリーには崖、湿地、人工地形などの分類を示す土地条件図や国土の変遷が分かる旧版地図等、国土の脆弱性に関する情報も含まれており、これらは地方自治体等で作成されるハザードマップ等の基礎資料としても利用される。

(問い合わせ先)

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番

国土交通省 国土地理院

地理空間情報部

企画調査課長

飯田 洋

Tel 029-864-5948

課長補佐

船津 裕司

Tel 029-864-5949

Fax 029-864-1805

地理空間情報ライブラリーによる地理空間情報の活用促進

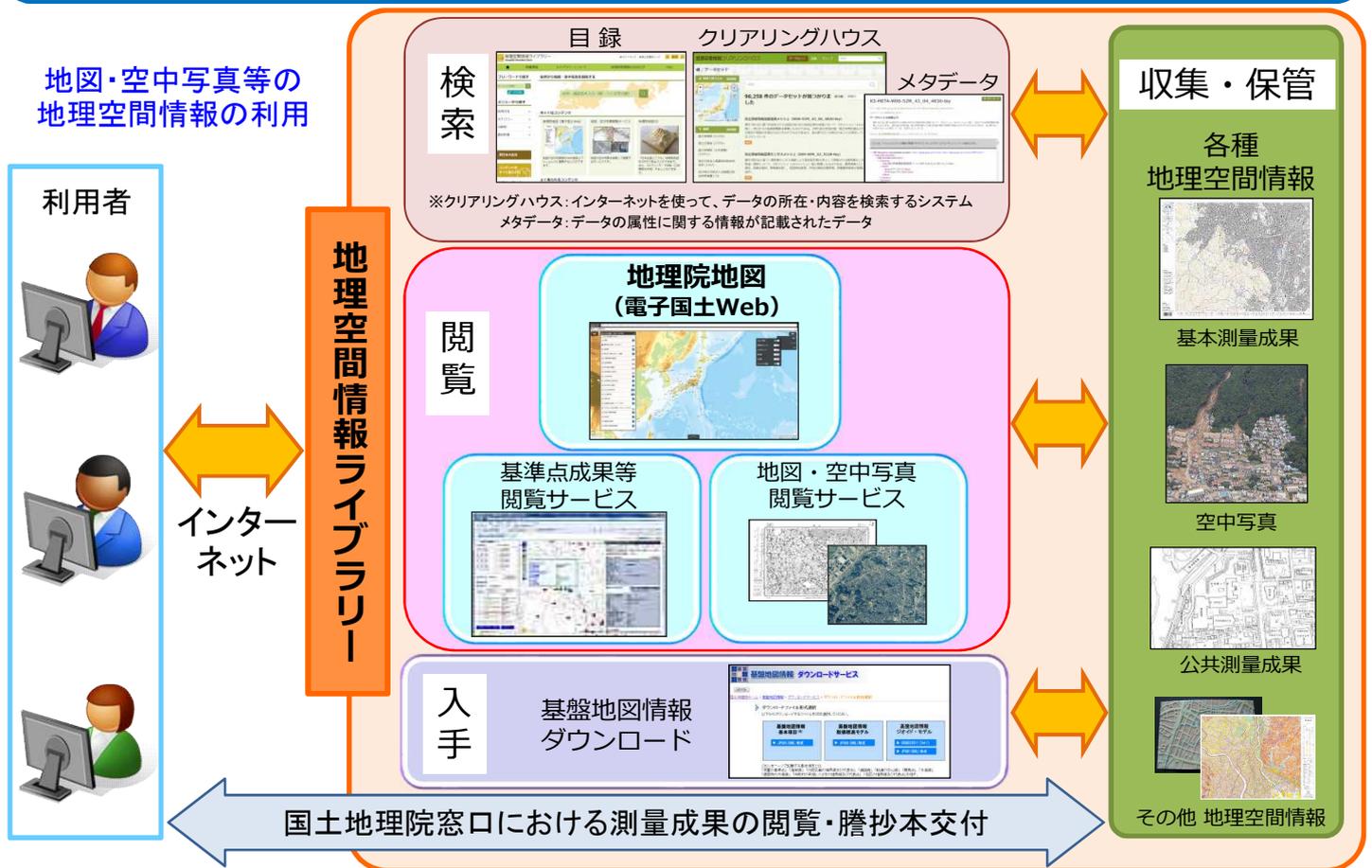
●地理空間情報ライブラリーは、地理空間情報に関する図書館として機能し、利用者に必要な情報及びサービスを提供する。

目的

地理空間情報の統合的な検索・閲覧・入手を可能とする地理空間情報ライブラリーを運用するとともに、さまざまな目的で利活用できる地理空間情報の流通を促進し、共用を進める。

概要

地理空間情報ライブラリーには、国土地理院の過去からの地図・空中写真の基本測量成果及び国・地方公共団体等が整備した図面等の公共測量成果等が登録される。それらの地理空間情報のインターネットを通じた利活用を推進する。



効果

- ・ 迅速な情報収集ができ、利便性の向上に繋がる
- ・ 重複・類似した情報整備が不要となり、行政コストの低減ができる
- ・ 災害時の地理空間情報のバックアップとして機能する

地理空間情報の流通が進み活用が促進される